

第12号
2007.8

たじま 夢つうしん



46年ぶりに築立ったヒナ

第4期 但馬夢テークル委員会が スタートしました。

平成19年4月21日(土)、第4期但馬夢テークル委員会(任期2年間)が、110名の公募委員さんによりスタートしました。委員会では但馬地域ビジョンの実現に向け、参画と協働による10の県民行動プログラムに取り組んでいきます。



但馬夢テークル
委員会って何?

21世紀兵庫長期ビジョンに基づいた「但馬地域ビジョン」を地域住民の参画と協働により実現していくため、但馬県民局に設置された委員会です。

県民行動
プログラムって何?

「自分たちですることできること」「行政の支援を得ながら自分たちでできること」「行政と密に連携しながら共に取り組むこと」などの行動を中心として、多くの地域住民の参画により行動を展開するための「宣言」「手引き」です。

第4期 夢テークル委員会活動の始動

…元気あふれる但馬へ…

但馬夢テークル委員会委員長 西垣 義嗣



昨今様々な格差の問題がクローズアップされています。まちづくりにおいても地域間での格差はこれからますます広がっていくことでしょう。

その格差を生み出す要因の一つは、知識の格差ではないでしょうか。私たちは、自分の住んでいる地域のことをどれだけ語れるでしょうか。例えば住んでいるまちの歴史や地名の由来など。そんな知識は、普段の生活の中では、知らなくても何の不自由もありません。しかし、知ることでよまちの活性化に活かせることは多々あるはず。もう一つの要因は、意識の格差です。まちの機能を自分の理想に近づけるため自ら参画・協働していく意識です。例えば、日ごろから防災に対する意識を働かせていることにより、災害発生時に防災・減災に役立つことはたくさんあります。

また、自治体の財政破綻という言葉が身近なものになってきました。加えて、少子・高齢・過疎化のことで、私たちは、つい目の前で見えてきた数字に悲観的になってしまいがちです。しかしながら、少子・高齢・過疎化が進むまちでも、元気なまちはあります。

但馬には、私たちがまだ気づいていない多くの魅力があるはず。また、今後新たな魅力も生まれてくるでしょう。但馬の空には優雅に翔るコウノトリ、その眼下には、元気な私たちが生きてこそコウノトリの存在が引き立つのではないのでしょうか。

夢テークル委員会の10のグループには、それぞれはっきりとした目標があり、その目標達成に向かって委員の皆さんはそれぞれの知識を活かし、意識をもって活動されています。この活動の輪を皆さんと共に拡げていくことが、但馬の活性化に繋がることでしょう。第4期110名の活動に皆様のご理解とご協力をお願いします。

地域づくりの主役は私たち

…地域活動の輪を広げよう…

副委員長 河越 忠志



私は、建築設計等のしごとや子育ての中で「名医は患者がつくる」が如く、当事者が他人任せではなく、本気になることが如何に重要かを実感してきました。その理念は教育や自治(地域づくり)においても共通であるとの思いから様々な地域活動に加わってきました。第4期夢テークル委員会では、各活動グループや各委員さんが活動しやすい環境を整えることの一助になりたいと考えています。任期の2年が経過したとき、今期が初回の委員さんは意欲を持って第5期委員に応募され、2期目の委員さんは、活動仲間という財産と2期4年間の活動実績を持って卒業され、更に様々な分野の地域づくり活動に繋げていただきたたいと願っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

素晴らしい但馬を次世代に

副委員長 久保 千賀子



但馬夢テークル委員会も今期で第4期目を迎えます。現在では、たくさんの方々がさまざまな地域活動グループで活躍されています。私も、そんな地域活動グループへの参加を通じ、夢テークル委員会を知りました。夢テークル委員会のOBの皆さんは地域活動にとても前向きで、但馬にこのような素晴らしい方々がいらつしやることに大変感動し、良い意味でのカルチャーショックを受けました。これからの、第4期夢テークル委員会の皆さんの活動が、もともと但馬全体に波及し、兵庫県へ、そして世界へと広がっていく活動へ結びつけばと切に願っております。私は常々、「自然豊かな但馬の良さを、どのようにして次世代の子ども達に継承させることができるのだろうか?」という事を考えています。夢テークル委員会では「食の安心・安全」グループに所属していますが、同じ思いを共有する他のグループとも連携して幅広い活動が出来ればと思っています。まずは私自身が率先して活動し、皆さんと一緒に助け合いの精神で頑張らせてまいります。

私達大人が住んで楽しく、元気に暮らせる住みよいまち創りが出来れば、それはきっと子どもたちにも魅力的なまちになることでしょう。



自立の郷

次世代ネットー但馬の星づくり …若者の元気、応援します!…

私が所属する次世代ネットはとかく年齢層が幅広い。職種も立場もバラエティ豊かで、これが「夢テラブル委員会」という大風呂敷の魅力。普段ならはま関わることのない面々との、たくさん脱線しながらの会合は一見とりとめのないムダ話にも見えるが、そこからたくさん皆さんのアイデアが生まれる。雑談スワイタル。

但馬を良くするとか、住み良いまちにするとかの大きな志より(もちろん、根っこには持っていますよ。)、このスワイタルに巻き込まれながら、みんなが地元をネタに面白い事を考えようと楽しんでるのがこのネット。今日もほめ上手の長老に乗せられて、あれこれ計画進行中。実働部隊はやはり若者でしょうかね、とかなんとか言いつつがんばっております。



- 計画進行中のプロジェクト**
- ペットボトルイルミネーションイベント
 - 但馬各地のイルミネーションネットワークによる連携イベントの企画
 - 地域づくりに取り組み若者(次世代の星)応援活動

【吉岡 亮】
(文：山根和恵)

但馬地域づくり応援ネット

一住民による主体的な地域活性化応援

…あなたのまちの活性化、応援します!…

「但馬地域づくり応援ネット」は、実践グループとして、まだ産声を上げただけです。

しかし、これからの活動に向けた目標は明確で、グループメンバーの結束・志気共に大変高いものがあります。

今号では、グループの活動目的と活動内容についてご紹介し、次号からは順次活動成果についてのご報告をさせていただきます。

活動目的 住民による地域づくり提案(提言)

活動内容 住民による主体的地域活性化の取組状況把握と今後への具体的方策の可能性研究

私どもの活動は、現地調査が生命線となります。どうか各地での取材やフォーラム等諸活動へのご協力をよろしく願います。

【成相 博昭】



但馬の川と峠の物語 …但馬の風土と、そこに生きる私たちの生活(物語)を伝えていきます。…

但馬の川と峠を巡り訪ねて、川や峠と関わってきた人々の話を聞き、ときには、遠く古の歩くことのみが交通手段であった時代の超スローライフの世界から、高速の現代交通の世界を行ったり来たりし、体感と郷愁に浸る半日。

歩く峠から、車の通る峠へ、そしてトンネル化して名前だけ残った峠など、川と峠をとおして、その地域が育んできた様々な歴史、文化や風俗など、但馬人の来し方を知り、越し方を探り楽しみます。

そのために、隔月に現地視察と検討会を繰り返し、まず自分たちが楽しむことを第一にしつつ、但馬の歴史と風土を再発見し更に、その土地々の旨いもんも楽しむことにしているグループです。

【宿南 登】



朝来市生野町の古城山を望みながら、但馬・播磨の分水嶺(旧生野峠)の話を聞く一行。

但馬の観光による活性化・多彩な交流促進 …観光+α(交流の種時き)で、ふるさと元氣アップを。…

但馬地域ビジョンには但馬の将来像として四つの将来像があり、地域住民の参画と協働が求められているところである。

その中の一つ、「賑わいの郷 交流人と共に愉しみあふれる“たじま”を創る」の県民行動プログラムとして但馬の観光による活性化・多彩な交流事業に取り組んでいる。

活動目標は、①**観光の広域連携(ネットワーク化)の推進** ②**交流促進情報の発信**としている。グループ活動は、まだ、緒についたばかりであるが、但馬全域から集まった11人のメンバーは、幸いにもふるさとの元氣アップを何よりも望んでいる人たちがばかりであり、気負うところなく、調査、研究、話し合いに止まらず私たち地域住民が自ら取り組み満足できる成果が得られるよう、私自身のライフワークとしても微力ながら頑張っていきたい。

【藤原進之助】



但馬の民家探訪 …地域財産として、古民家の価値を再発見しましょう。…

私たちのグループは、いまだ原型を留めている但馬を代表する古民家の調査活動を通じて、次の2つの目標を掲げ活動をしています。

①**但馬の風土や生活から形作られてきた民家等の文化的価値の再認識を図る**

②**現代生活との比較・融合から古民家の活用方策を考えていく**

7月に行った第1回探訪会では、20名という多くの参加者により、豊岡市の代表的な旧家3軒を見て回りました。但馬の農村大地主の歴史を今に残す連続した土塀と土蔵が印象的な「A邸」、酒屋を営んでいた築180年の町屋を、昔の作りを残しながら現代生活に即した空間に再生された「O邸」、神鍋の溶岩石や玄武岩という地域独特の石垣で構成された大きな屋敷が印象的な「U邸」、それぞれの歴史と風土を感じさせる建物と、当主の丁寧な説明に参加者皆満足し、ワイワイがやがやと楽しい探訪会となりました。

毎月第二土曜日に定例会の開催を予定しています。皆さんもいかがですか。

【福岡 隆夫】



古民家の当主より説明を受けるメンバー

賑わいの郷

癒しの郷

森・川・海の再生

…豊かなようで、実は壊れやすい自然。そんな但馬の自然と私たちの生活の共生を目指して。…

自然環境を学ぶ

自らの行動を通じて自然から学ぶことを基本に、但馬各地の自然環境の現状調査、観察、学習を通じて森・川・海の再生活動を実践していきます。

活動計画(予定)

- ①「但馬のじぎくの郷づくり」活動
(県花「のじぎく」をコアホトリ文化館周辺に植栽など)
- ②広葉樹林の森づくり活動
(広葉樹(ブナ、ナラ、トチ、ケヤキ等)を対象に種子の収集→播種→苗木作りに挑戦)
- ③植樹会への参加
- ④観察会の開催(山の観察会:大幹線林道の広葉樹林、海の観察会:海から見る但馬海岸)
- ⑤学習会の開催
(樹木医を囲む会)
- ⑥視察、施設の見学
(県立森林林業センター等)

【宮本 勝美】



豊岡市三江小学校の児童連とのじぎくの苗を植栽

生活環境を学ぶ

生活の中で住民一人一人が実践していくエコライフへの意識啓発に取り組んでいます。

活動計画(予定)

- ①環境に優しい生活-5R生活の推進-
- ②マイビッツ運動の推進
- ③家庭ゴミ減量運動
- ④関係団体と連携した清掃活動、環境学習

【藤田 貢】



たじまのうたまつり

…「うたは人と人を繋いでいきます。私たちの「うた」を、あなたに届けます。…

前期に引き続き「たじまのうたまつり」をテーマに活動できることになりました。

歌の大好きな仲間が9名。もちろん、どの活動にも誰でも参加できる楽しさがあります。前期同様に但馬各地で開く「うたのひろば」はとも好評で、4月以降もすでに豊岡・出石・竹野など四回も開催し、温かい歌の集いを楽しむことができました。

「但馬の歌」の発掘、紹介については、FMジャングルや神戸新聞朝刊での紹介も続いており、資料もだいぶ集まってきました。引き続き歌の情報発信に取り組みます。歌を通じての交流に、みなさんの熱い参加をお待ちしています。

【沖野 芳郎】



食の安全・安心

…安全・安心な食の生産・流通・消費へとつながるコミュニケーションを!…

第四期は、安全安心を基に生産されている生産現場を実際に視察し、安全安心食材を集め調理試食を行う「食の安全安心体験会」を開催したいと考えております。

早速、6月には農林大臣賞を受けられた小西さんのトマト畑を見学し、そのトマトでトマトピューレや鶏肉のトマト煮を作り楽しく試食会を終えました。9月には豊岡市祥雲寺の「ごうのとり育む農法」で作られる稲の圃場、市民農園の見学、田んぼの生きもの調査とごうのとり米を中心にした調理試食会を、11月には子育て中の若いお母さんを対象にオンライン参加で安心・安全な地域食材の調理試食会の開催、2月には安全安心を基に加工されている鶏肉生産工場の視察と鶏肉料理を楽しみたいと考えています。多くの方の参加をお待ちしております。

【太田 国雄】



トマトピューレ作りに挑戦

地域の防災・減災のネットワークづくり

…人のつながりがこそが防災・減災対策の基本です。…

今、台風4号が九州南部に上陸したとテレビで放送している。もし、この台風が但馬地域に接近することになれば、3年前の、あの23号台風の時のような災害が発生するのではとの思いが脳裏をよぎりました。

私たちのグループは、台風、地震などの自然災害や、火災などから災害時要援護者(障害者・高齢者・子供など)を守るために、自分たちに何が出来るのだろうか、一つ一つ研究をしています。

まず、地域内の災害時要援護者を把握し、災害発生時には最優先に避難してもらうためには手助けが必要ですが。災害弱者の立場に立った、防災、減災についての問題解決を図るべく活動をしていきたいと、真剣に考えたいです。

【高倉 清】



起振車で地震体験

地域の助け合いネットワークづくり

…「共に生きる」地域社会を目指して。…

高齢者・障害者(児)の社会参加が容易で、誰もが地域社会の一員として支え合う社会を目指します。

地域の助け合いネットワークづくりに向け、“共に生きる”をキーワードにメンバーの様々な提案を活かしながら、取り組んでいます。

【中嶋 忠男】



慈しみの郷



読者の声

しゃべり場 スタジオ100

助け合い・募集・お知らせ・近況・活動・etc.
～読者の皆さんの投稿をお待ちしています～

但馬の民家探訪に参加して —古い民家に新しい魅力を発見—

第4期但馬夢テークル委員会に初めて参加し、地域づくりの100のプログラムの中から「但馬の民家探訪」のメンバーの一員として活動することとなりました。



7月に行われた、初の民家探訪調査に参加し大変感動いたしました。

何百年も昔に建てられた民家が今も現役で存在していることや、今まで見たことのないような美しい欄間や釘隠。こんな素晴らしい建物をこれから多く探訪調査できることを喜んでおります。

しかし、建築や古民家には全くの素人で何も分からないのが現状です。これから活動していくなかで勉強し、古民家の素晴らしさを一人でも多くの方に報告できればと思っています。

【宮根 裕一】

峠に吹いた夢の風

遙か昔から、人々の暮らしたの点と点を結んできた春來の峠、トネル開通後、今は小鳥のさえずり響く静かな村の峠となった。

春來峠が久々に大雪に覆われた1月、但馬夢テークル委員（「但馬の川と峠の物語」グループ）の方々の訪問を受けた。村の先達は、ここで生活する今を、昭和初期の生活と比較しながら、交通網の発達と峠の暮らしぶりを少しずつ語り始めた。その中で、厳しかった暮らしぶり、温かった人の温もりを、昨日のように思い返した。委員の皆様が、語りこーつーつ頷き聴き入ってくださったことが、この地に生きてきた実感をより強く感じさせた。厳しさあればこそ、それを乗り越える力が身に付いたのだと。今更ながら過去に勇気づけられ、明日へと想いをつなぐ。感謝、感謝だ。あの時、峠に吹いた夢の風は、冬中ではあったが、少し温かった。

春來小学校長 【田中 幸吉】

但馬の食を世界の食卓へ

今秋、我々豊岡の稲作農家が「このどりの育む農法」で栽培したお米を兵庫県の協力を得てアメリカで販売することになりました。豊岡で栽培されたお米で醸造されたお酒も先行して輸出されます。

近年、世界中で健康食ブームや日本人駐在員の進出に伴って日本食や日本酒が大変注目されています。つまり日本食の食材の需要が高まっています。

人には思い込みや考えの囚われがあるとあります。これまで日本の農業は国際競争力が無いとばかり聞いてきました。しかし、日本の国土は、こんなに豊穡で水資源も豊富であり、さらに立派な食文化もあるのに?!?!…。先祖から受け継ぎ、守り伝えてきた日本そして但馬の「宝物=田からのもの」を世界の食卓に届けたいと思います。

【根岸 謙次】

「但馬夢テークル倶楽部」OBの活動紹介

私たちは、夢テークル委員から集立った今も活発に活動しています。

但馬の近代化遺産の調査とマップづくり

私たちは「但馬の近代化遺産の調査とマップづくり」というテーマで10名のメンバーで二年間活動してきました。当初から目標として掲げていたことは下記の3つです。

- ①定期的な活動する（但馬全域を調査する。メンバー間の交流）
- ②一般の人にも巻き込む活動をする（近代化遺産の認知）
- ③何か形（成果）になるものを残す（マップ作り）

上記の目標を基に現地見学17回、一般市民も交えたフォーラム2回（150名参加）、委員向けの座学2回の21回活動を行いました。その記録も小生のHP (<http://venex1.exblog.jp/>) で発信しています。結果的に多くの人に支えられ県民局の多大な協力もあり成果品として「但馬の近代化遺産」をまとめたガイドブックも出来上がりました。

活動費として県民局からの助成を上手に使い、あとは自分たちで出来る手法を考え県民局と協働して一般市民を交えた活動ができればきっと自分たちの目標がかなうと思います。

←レポートバースク

■新聞社の掲載について

活動日の前日、もしくは当日の記事として掲載を要望する。写真付が集客をUPさせる。そのためには平日頃から新聞社と密に連絡を取り合う。新聞に掲載してもらうにはチラシは必要。

■チラシ等について

キヤッチコピーを考える。堅苦しい文言より興味を引く文言がよい。写真付がよい。だれどチラシだけでは集客が期待できない。

第3期 夢テークル委員 【中尾 康彦】



但馬の近代化遺産ガイドブック

お空を飛んだメダカさん

食の安全・安心は日本のみならず今世界的に関心を持たれています。先日「食の安全・安心」グループのテチャップ作りに参加させていただき同じ目的、思いの委員さんの活動姿に多いに感激しました。今春より出発した「長井ふれあい朝市」に少し見栄えは良くありませんが無・減農薬の野菜を出荷しています。委員時代に出来なかつた消費者に直接「食の安全」について話しかけが出来たのも私にとって大きな収穫です。前期「食の安全・安心と農業」グループでは若いお父さん、お母さん、将来ある子どもたちに「食の安全・安心」を知ってもらおうと「お空を飛んだメダカさん」「陽菜ちゃん野菜畑」の自然や生き物にやさしい農法について、とてもやさしく楽しい二つの紙芝居を作りました。今まで披露した所では子どもにも大人にも大人気のようです。私もぜひ上演したいものです。

【小谷 愛子】

コウノトリと共生する地域づくりフォーラム・自然放鳥

【日 時】 平成19年9月22日(土) 13:00～16:30
 【場 所】 じばさんTAJIMA 多目的ホール(豊岡市大磯町)
 【テーマ】 環境創造型農業とみんなの暮らし
 【日 時】 平成19年9月22日(土) 10:30～11:00
 【場 所】 豊岡市城崎町戸島

【お問い合わせ先】 兵庫県立コウノトリの郷公園

TEL0796-23-5666

兵庫県但馬県民局コウノトリ翔る地域づくり担当

TEL0796-26-3616

第4回 但馬の巨木写真展

【展示期間】 平成19年10月14日(日)～11月11日(日)
 【展示場所】 兎和野高原野外教育センター・木の殿堂
 (美方郡香美町村岡区和池951)
 【開館時間】 10:00～16:00・月曜休館
 【お問い合わせ先】 但馬巨木保存会事務局 須山 貞夫

TEL0796-44-0653

※当会は但馬夢テークル委員会活動から生まれた会です。

お知らせ

●但馬夢テークル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください●

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 但馬県民局内 但馬夢テークル委員会事務局(企画調整部地域ビジョン課)
 TEL:0796-26-3615 FAX:0796-24-7490 URL:<http://web.pref.hyogo.jp/area/tajima/vision.html>

19但馬@2.007A2